

3市6町が合併してできる「(仮称)田園都市」はこのようなまちになります。

人口40万人を超え、埼玉県で3番目に人口の多い都市になります。

1位：さいたま市(1,008,902人) 2位：川口市(456,553人)

3位：「(仮称)田園都市」(405,582)人、4位：所沢市(325,501人)

面積200km²を超える広域都市になります。

1位：「(仮称)田園都市」(214.45km²) 2位：さいたま市(168.33km²)

産業面でも県内有数の都市になります

農業生産額県内第2位(1位：深谷市)

工業製品出荷額県内第3位(1位：さいたま市、2位：狭山市)

小売販売額県内第4位(1位：さいたま市、2位：川口市、3位：川越市)

合併によって財政力が強化されます。

年間80億円程度の経費削減が見込まれます。

まちづくりのため、合併後10年間で890億円の合併特例債が受けられます。

都市と自然がバランスした、美しい田園都市となります。

道路や下水道など、都市基盤の整備が進みます。

40万都市にふさわしい都市核が整備されます。

3市6町が合併したまちを「田園都市」と仮称します。



3市6町の住民サービス水準...人口が40万人クラスの都市と比較して

	(仮称)田園都市 A	類団平均 B	A-B	久喜市	蓮田市	幸手市	宮代町	白岡町	菫蒲町	栗橋町	鷲宮町	杉戸町	川口市	西宮市	藤沢市	吹田市
人口千人当り 病院・診療所 病床数	9.3	10.7	-1.4	9.3	15.2	16.3	0.8	5.7	1.4	12.3	6.2	7.2	8.9	13.9	6.7	13.6
市町道舗装率	68.5%	93.3%	-24.8%	62.7%	58.7%	75.0%	58.9%	60.2%	50.9%	85.5%	79.3%	70.1%	93.4%	95.4%	87.2%	99.4%
公共下水道 普及率	51.7%	87.5%	-35.7%	76.7%	49.1%	31.6%	58.8%	37.4%	27.3%	37.8%	63.1%	51.0%	69.8%	97.8%	88.9%	96.8%
時間外窓口 サービス	-	-	-	x	x	x		x	x	x						
本庁外窓口 サービス	-	-	-				x				x					
人口千人当り 図書館蔵書数	1,927	1,944	-17	1,940	1,582	2,310	4,004	1,320	2,224	1,346	2,398	814	1,532	1,608	3,099	1,639
人口1人当り 公園面積	4.33	6.09	-1.76	5.70	2.80	3.70	3.10	4.75	13.60	1.90	4.20	2.51	3.50	7.10	5.40	9.10
ISO14001 認証取得	-	-	-			x	x	x		x	x	x				x

注)「類団平均」は上の表に掲載している人口が40万人クラスの都市4市の平均です。

【仮称 田園都市】は久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、菫蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町の合算です。

「田園都市づくり協議会」による合併問題研究の報告書及び「埼玉県東部中央都市連絡協議会」での合併問題に関する研究報告書については、役場1階町政コーナーやコミュニティーセンターなどの各公共施設で閲覧できます。また、6月上旬からは町公式ホームページでも閲覧できる予定です。

(<http://www.town.shiraoka.saitama.jp/>)

問合せ先 秘書政策課 政策調整担当 内線 374、375





市町村合併を考える



白岡町は、近隣市町との合併を協議する場として、「埼玉県東部中央都市連絡協議会」と「田園都市づくり協議会」の二つの協議会に参加し、市町村合併についてさまざまな調査研究を行っています。

先月号では、埼玉県が示した合併パターンのうち、白岡町が含まれる4つのパターンについて、埼玉県東部中央都市連絡協議会による調査結果の概要についてお知らせしましたが、今月号では、田園都市づくり協議会から出された合併問題に関する調査研究結果をお知らせします。この協議会では、構成市町が仮に一つに合併すると想定して、メリットとデメリット（期待できること、懸念されること）などの調査研究を行いました。

田園都市づくり協議会... 3市6町（久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町）で構成し、広域行政についての調査・研究を行っている。

3市6町の合併によって、 新たなまちづくりが期待されます

3市6町が合併した場合、人口405,582人に対して可住地面積は214.45km²で、広域型の都市となります（県内で比較すると、人口46万人の川口市が54.56km²、33万人の所沢市が63.38km²で、「(仮称)田園都市」が広域型の都市であることがわかります）。このため、都市としての一体感の醸成や、拠点性を有する都市核の整備が課題となります。これに対して、合併特例債や合併による経費削減効果により強化された財政力を生かして、祭りやイベントなどによる地域間の融和・交流や、道路の整備などによって市内の交通利便性を高めることが求められます。更に、地域ごとに特色ある都市核の形成が期待されます。強化された財政力を活用しつつ、10年かけて「自立した都市」を作り上げることが合併の真の目標であると考えられます。

財政効果

合併により、次のように経費の削減が見込まれます。

(単位：百万円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	消防費	教育費
784	4,387	948	1,072	1,390	1,660
削減可能額合計		8,097/年	合併特例債	89,000/10年	

議員数 215人 46人
職員数 2,985人（平成13年度）
2,796人（平成23年度） 189人

合併により事務の効率化が見込まれることから、平成23年度の職員数については、合併以降の毎年度に、前年度の退職者の3分の2を新規に採用すると想定した場合の職員数を示しました。

